

「奨学資金貸付申込書」記入上の注意

- ① 楷書で全ての欄に明確に記入すること。
- ② 「在学学校・出身学校」欄は在学学校を○で囲む。
「学校名」
「学部、学科等」（中学校は記入不要）
「学年」（出身校の場合は記入不要）
— 正式名称を記入する。
- ③ 「進学希望校」欄は記入不要。
- ④ 「育英資金等の兄弟及び本人の申込・借受状況」欄は、兄弟若しくは本人が育英資金等他の制度を受けている場合はその名称と状況（貸付中、返還中）を記入し、受けていない場合は「無」を○で囲む。
- ⑤ 「家族及び続柄」欄は、同居別居にかかわらず同一生計内にて生活する全員について（申込者本人も含む）記入する。別居している場合は備考欄に記入する。
- ⑥ 「年齢」欄は、令和8年4月1日現在で記入する。
- ⑦ 「職業又は勤務先」欄は、農業・〇〇商店・〇〇会社〇〇課・〇〇小学校〇学年・無職などのように具体的に名称を明記する。
- ⑧ 年収は、分かる範囲で記入する。
- ⑨ 「連帯保証人」は佐賀県内の生計を別にする世帯の成人2名で、うち1名は申込者の保護者とする。連帯保証人の印鑑は、必ず実印を押す。
「申込理由書」は、奨学資金を希望する理由を具体的に詳しく記入するほか、選考に際し参考となる事項を記入する。
※本人自署……奨学生本人
- ⑩ 奨学生推薦書・成績証明書は、出身学校・在学学校へ作成を依頼すること。
- ⑪ [令和8年度（令和7年分）町県民税所得課税証明書※世帯全員分]は、役場総合窓口より交付を受ける。その際、税務課へ申請する方が世帯主以外の時は、委任状が必要なので持参すること。
- ⑫ [住民票謄本]は、役場総合窓口より交付を受ける。
- ⑬ [町税等納付状況確認同意書]の「申請者」は、保護者ではなく本人（子ども）の氏名を記入する